

## 「国際海洋環境情報センターによるオンライン授業」

8月25日(金)、情報商業科2年の生徒が「上記オンライン授業」を受講しました。

国際海洋環境情報センター(GODAC)は、沖縄県北部、名護市を拠点に海洋・地球の研究・観測データを全世界へと発信しています。また、社会や国際的な政策課題の解決、SDGs の推進にも貢献しています。

本校の2年生は、12月に沖縄修学旅行を実施する予定となっていますが、その事前学習としてGODAC の様々なプログラムの中で、「海洋ごみ問題」「沖縄の海」「海の生物多様性」について職員の高恩納茜さんからお話をいただきました。



沖縄の美しい海には、世界一多くの種類のサンゴが形成するサンゴ礁が広がっていますが、近年その数を減らしています。

主な要因としては、生活排水による海の水質汚染、土地開発による土砂の流入、人間の活動や地球温暖化による水温上昇などが原因だそうです。



参加した生徒からは、「沖縄への修学旅行が今回の授業で、より充実できると感じた。」「普段考えたこともなかったサンゴの生態について勉強できてよかった。」など、感想を述べていました。